

議会だより



新体制でスタート・議会構成 2
一般質問(産業・教育・福祉を質す) 11~15
モニターアンケートにお答えします 16・17
あの時のあの質問どうなった 18
町民の声 19

令和4年初詣 牟礼神社
関連記事20p

発行／長野県飯綱町議会 編集／議会報編集調査特別委員会 発行責任者／渡邊 千賀雄
〒389-1293 長野県上水内郡飯綱町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和3年12月31日現在 人口10,713人(98.7%)／男5,276人(99.9%)・女5,437人(98.4%)
世帯4,220(100.0%) ※うち外国人世帯31(110.7%) ()内は前年比率

第5代飯綱町議会議員

新体制でスタート



議長就任のあいさつ

渡邊 千賀雄
飯綱町議会の議長就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。また、ご挨拶を申し上げます。

議会は、地方・住民自治を担う役割を持ち、活動を活発かつ充実させ、町民の負託にこたえていくことが期待されていると思います。

議会の使命は行政施策の最終決定をすること、行政運営を批判し監視することです。これらの役割を發揮し、住民の福祉の向上と地域・町政の発展に取り組むことが求められています。

議会は、地方・住民自治を担う役割を持ち、活動を活発かつ充実させ、町民の負託にこたえていくことが期待されていると思います。議会の使命は行政施策の最終決定をすること、行政運営を批判し監視することです。これらの役割を發揮し、住民の福祉の向上と地域・町政の発展に取り組むことが求められています。

副議長就任のあいさつ

原田 幸長
飯綱町議会の副議長就任にあたりご挨拶をさせていただきます。

飯綱町議会基本条例にありますとおり、議会は町民の負託に応え、二元代表制の一方の担い手として、町民全体の福祉の向上を実現する使命を負っています。

そして議員は、常に町民に対する議決責任と説明責任を果たし、町民に信頼される存在のある議会とす

揮し、住民福祉の向上と地域・町政の発展に取り組むことが求められています。議会制民主主義のもと、公正、公平、民主的な議会運営に努めます。

議会改革、視察・研修等の学びも進め、議員力、議会力を高めていくことも重要だと思えます。

町民の皆さんのご意見や、提言をぜひお寄せください。全力で頑張ります。

るために不断の努力を貫くとあります。

私は、目指す議会像や、議会の活動原則、議員の行動原則等を遵守し、初当選

より心掛けてきた町民の皆様のお声に耳を傾け、皆さんの意見を聞き、それを議会に届け、よりよいまちづくりに取り組んでいきます。

今後も努力と自己研鑽を怠らず、町民の負託に応え、町民生活の向上に努力して参ります。

飯綱町議会委員会等構成

議 長	渡邊 千賀雄
副 議 長	原田 幸長

委員会名等	定 数	委 員 (◎常任委員長 ○副常任委員長)
総務産業常任委員会	8名	◎青山 弘 ○中島 和子 小林 文廣 風間 行男 目須田 修 清水 満 大川 憲明 (渡邊 千賀雄)
福祉文教常任委員会	7名	◎伊藤 まゆみ ○樋口 功 三ツ井 忠義 中井 寿一 瀧野 良枝 石川 信雄 原田 幸長
予算決算常任委員会	14名	◎瀧野 良枝 ○石川 信雄 三ツ井 忠義 中井 寿一 小林 文廣 青山 弘 中島 和子 樋口 功 風間 行男 目須田 修 清水 満 大川 憲明 伊藤 まゆみ 原田 幸長
議会運営委員会	6名	◎清水 満 ○樋口 功 瀧野 良枝 青山 弘 中島 和子 伊藤 まゆみ
議会報編集調査特別委員会	6名	◎石川 信雄 ○中井 寿一 小林 文廣 瀧野 良枝 青山 弘 中島 和子 (発行責任者 渡邊 千賀雄)

職 名	定 数	委 員 等
監査委員	1名	大川 憲明
消防委員会委員	1名	清水 満
北部衛生施設組合議会議員	5名	渡邊 千賀雄 原田 幸長 青山 弘 伊藤 まゆみ 樋口 功
北信保健衛生施設組合議会議員	2名	渡邊 千賀雄 伊藤 まゆみ
長野広域連合議会議員	2名	渡邊 千賀雄 伊藤 まゆみ
森林・林業活性化促進議員連盟	15名	全議員

職 名	定 数	委 員 等
飯綱町表彰委員会	1名	渡邊 千賀雄
飯綱町人権擁護審議会	1名	伊藤 まゆみ
飯綱町環境審議会	2名	目須田 修 石川 信雄
飯綱町健康づくり推進協議会	1名	中井 寿一
飯綱町民生委員推薦会	1名	伊藤 まゆみ
飯綱町社会福祉協議会理事	1名	伊藤 まゆみ
飯綱町農業振興協議会	2名	風間 行男 清水 満
飯綱町総合農政対策協議会	2名	渡邊 千賀雄 青山 弘
飯綱町地域農業再生協議会	2名	渡邊 千賀雄 青山 弘
飯綱町観光開発審議会	2名	青山 弘 中島 和子
飯綱東高原観光施設等管理運営協議会	3名	原田 幸長 青山 弘 中島 和子
飯綱町都市計画審議会	4名	渡邊 千賀雄 原田 幸長 青山 弘 伊藤 まゆみ
飯綱町地籍調査推進委員	3名	青山 弘 中島 和子 石川 信雄
飯綱町青少年育成町民会議	2名	渡邊 千賀雄 伊藤 まゆみ
飯綱病院事業検討委員会	2名	渡邊 千賀雄 伊藤 まゆみ

私の

今期4年間の

抱負

※原稿は各議員が責任を持って編集しています。



中井 寿一
(議席番号2)

長年、牟礼陸上スポーツ少年団で小学生達と関わってきたので、私の関心は子供の教育にあります。そこで、「老人よ大志を抱け」ということで、教育改革をやっていきたくと思っています。4年間でできるかどうかわかりませんが。

親御さんの基本的な価値観は、大人数で競争切磋琢磨させて優秀な子供を育てることでした。これには非常に違和感を感じました。まるで少数者だとまともな教育ができないような雰囲気でした。

子供は皆それぞれ違います。単一の価値観で競争させて劣ったものはどうするのでしょうか。私は、一人一人丁寧に、それぞれの性格・興味に合わせて育てるものだと思います。まずは、この辺の意識改革から始めたいと思っています。ご協力をお願いします。



三ツ井 忠義
(議席番号1)

1. 風坂に、温泉をつくりたい。
2. 大倉沢から上がってくる、風坂に道路を作りたい。
3. 国道経由、国道18号線を、営業所から、川谷通って、大倉通って、浅野の交差点を通って、柳原通って、東尾張部、西尾張部通って、長野駅、高田、古牧通り、長野駅線をまた作りたい。
4. 今通っている、福井団地、平出

通って、上野大原通って、三輪通って、権堂、もんぜんぶら座通っているバスは、牟礼線となり、バス停も牟礼行きとなっているし、飯綱町に入ると、飯綱営業所となっているし、飯綱高原という地名も、長野市にあるので、三水線(三水行き)に直したい。三水村、旧三水まで、バスが行っているのだ。

5. しなの鉄道、北しなの鉄道を、信濃町通って。妙高高原から長野駅行きの、朝7時13分発、牟礼駅発の列車を5両から3両になったので、もとの5両にもどしたい。6両でもよい。



小林 文廣
(議席番号3)

A村地籍に倉庫・住宅所有、農地を所有して耕作する計画をした。農地を売ってもよい知人がいたのでA村農業委員会に相談したが、よそ者には売買認めないとされ拒絶された。平成21年B町地籍にりんご園所有栽培、平成28年頃黒星病大発生全滅に近い被害に遭いました。当時農薬散布農協特報によれば消毒は年10回で

したが、現在は13回です。温暖化の影響が大きいです。

自ら所有の建物へ太陽光発電設備を設置、雑木林を所有し薪焚きストーブを導入、脱炭素に努めている。

飯綱町は太陽光発電設置が遅れている。温暖化対策は急務です。漸新していきます。

よそ者扱いせず移住者増進に寄与します。自治会区組「任意団体」の加入退会は自由です。安全・安心・気楽・楽しく、住んで良かった飯綱町に邁進してまいります。



瀧野 良枝
(議席番号4)

《安心して住み続けられる飯綱町へ》

『住民主体のまちづくり』

限られた財源の中でサービスの選択と集中が求められるこれからの時代に
向け、住民力・地域力活用の推進

『子育て支援から子育て・親育ちの応援』

子育て中の不安感・負担感を軽減し、
心豊かに子どもを育てる環境整備、子
どもが自ら学ぶ環境整備の推進



中島 和子
(議席番号6)

今回の議会議員選挙は、民意を反
映するという選挙の根本的意義が無
くなり、飯綱町合併後初めての無投
票という結果になりました。議員の
なり手不足解消と、住民の皆様が議
会活動への理解を充分果たせなかつ
た責任は、議会にもあると感じてい
ます。

4年前、議会に送っていただき、
これまで地域コミュニティの活性化

『地域産業の発展』

産業間連携や起業支援など官民協働
のまちづくりの推進

『明るい未来へ懸け橋を』

公共施設の適正な管理運営、行政評
価の有効活用、外注基準の明確化、地
方創生事業の効果検証については、引
き続き徹底チェック

各分野において地域人材の発信力を
活用することによる相乗効果を期待し、
効果的かつ効率的な広報広聴活動を行
政に求めるとともに、議会としても
積極的な広報・広聴活動ができるよう、
仕組みの構築に尽力してゆきたい。

に力を入れてまいりました。多様化
する暮らしの中、地域課題の発見と
地域共生力の向上を図り、お一人お
一人の声を大切に、幸せを感じる地
域づくりを今後4年間も引き続き推
進してまいります。

機会があれば地区の会議や意見交
換会に積極的に参加させていただき
ます。

また、女性の代表として子育てか
ら就業の応援、そして高齢者まで多
くの皆様が、いきいきと暮らせる環
境改善への提案をしながら、共働の
まちづくりを目指します。

人、自然、飯綱町の宝を守りましょ



青山 弘
(議席番号5)

目指すのは、

「将来に夢と希望をもって暮らすこ
とができるまちづくり」

1. 活気あふれるまちづくり

○人口減少・少子化の流れにブレ
キをかけます

○医療・介護などの社会福祉施策の
充実

○地域自治の推進と行政の支援によ
る地域の活性化

2. 安心快適なまちづくり

○自然災害に対する防災対策の計画
的な整備

○高齢者や子育て世代には、居場所
づくりを

○児童が安全に登校できる通学路の
整備や歩道の設置

3. 議員のなり手不足の解決

○町民の皆さんから理解を得られる
議員定数と報酬の見直し



樋口 功
(議席番号7)

夢と希望のある町づくり

故郷の原風景が広がる飯綱町にU
ターンして8年目になりました。

町では人口が年々減少し、少子・
高齢化が進み、65歳以上の方の割合
が40%を超えている集落が多く発生
しています。周囲では子供たちの声
もなかなか聞こえてきません。この
傾向が続くと地域の自治活動が難し

い、いわゆる限界集落の心配もせざ
るを得ません。

誰もが願う生活し易い、夢と希望
のある町づくりを、議員4年の経験
を活かし、さらに進めます。

○少子・高齢化時代の中、皆が安心
して暮らせる飯綱町

○若人が安心して子育てできる飯綱
町

○女性の力が発揮できる飯綱町

○若人が農業などの後継者となれる
飯綱町

○行政の地域への浸透が行き届く飯
綱町



風間 行男
(議席番号8)

私は不正受給の温床となる政務活動費を廃止し、更に議員定数を削減し、若い人が出やすい環境作りとして、生活できる議員報酬に改めることで、有望な若者がこれからの飯綱町の将来を築き上げてゆく意欲ある新しい議員が誕生できることを期待します。

今後の農政のありかたが大変重要になってきます。行政と、ともに農政発展のために誠心誠意努めてまいります。

今後増え続けることが予想される高齢者、高齢者の住みやすい環境整備が急務と考えます。

飯綱町に移住される方への対応として、住みやすい環境整備や優しい心を持った歓迎が必要、既存のしきりを押し付けられないことが大切だと思います。

政策が実現できるよう全力で政策提言をしてまいります。町民の皆様からのご一報いただければ幸いです。



石川 信雄
(議席番号10)

美しい町へ

新庁舎は町のシンボルでもありません。今後のまちづくりにおいても、町民の皆様から利用され愛されることを強く願う次第です。新たにメーラプラザや三本松直売所、いびづなコネクとも整備されましたが、他の公共施設や上下水道などのインフラにおいても持続可能なシステムに移

行していかなければいけません。場合によっては、いずれ利用料金の見直しも必要になるかもしれません。関係人口増へ

特産のりんご、また東高原のグラブピング事業など起点となるコンテンツは豊富です。コロナだから何もできないではなく、近い将来を描いた施策を共に考えて参りましょう。

切磋琢磨した議会へ

いかなる時も議会基本条例を基本にして、議場で自由闊達に意見を述べる所存です。



目須田 修
(議席番号9)

2期目のスローガンは：「みんなでつくる誇れる町」「信頼される行政と議会」でした。

- 安定した生活基盤づくり
 - 育児・教育環境の充実
 - 看護介護サービスシステムの充実
- この三本柱の考えをブレずにやってきました。

件は、私の2本目のスローガンが強調された結果になってしまい、より議会の信頼回復が必要です。

また、住民の強い要望のみならず声なき声にも応えられる行政と議会が望まれます。

さらに、これからの町の活動は町づくり会社を始めとする企業と起業を応援し、力強くすることで雇用を促し、町が活性すると感じています。私が残している大切な仕事はPRです。可能ならばノウハウを行政と一緒に実践につなげていきたい。

これからも強い正義感を持って信念に基づいた活動を続けていきます。



清水 満
(議席番号11)

少子高齢が進むことで、人口減少はさらに加速します。人口減少は避けられません。高齢化・少子化を逆手に取った町づくりが必要で。飯綱町で住み続けて幸せであるために次のことに取り組みます。

1. 将来に負のツケを残さないように財政運営をチェックします。
2. 限られた財源を有効に活用で

きるよう、政策の選択と集中を議論します。

3. 公共事業の公平さと公共施設の持続管理が適正に行われるか議論します。

4. 町民の皆さんへ、困ったこと、相談したいこと、語り合いたいことがあったら、いつでも遠慮なく連絡ください。

皆さんに、さらに近づきながらも、信託される議員を目指します。

志のある議員と町民から信託される議会を目指し協力し合いたいと思います。



大川 憲明
(議席番号12)

町づくりの主役は町民！

(住民と行政・議会の協働で住み良
い飯綱町に)

町民の利益と、継続可能な町づく
りのために

● 交付税減額に備え財政規模スリ
ム化への支援

● 自主財源増加への支援

● 議員定数の削減！

● 高齢者が健康に生きられる施策
の支援

● 地域医療の中枢、飯綱病院への
支援

● 自立可能な上下水道事業への支
援

● 政務活動費廃止に尽力する



原田 幸長
(議席番号14)
副議長

皆さまに町議会に送り出していただ
き4年。愛するふるさとの安全・安心・
発展のために全力で駆け抜けてきま
した。徹して「一人の声」を大切にし、
飯綱の魅力を最大限に活かした希望あ
ふれるまちづくりを目指し、決意を新
たにますます尽力して参ります。

① 誰一人取り残さない町へ

町有施設・コンビニに屋外型AED
の設置を推進します。

② 産業の振興で活力ある飯綱町の建設
を

町外、県外からの移住を推進する、
定住住宅を拡充し若者の住まいを応援
します。

③ 自然との共生で循環型社会の確立を

2050年ゼロカーボン化(脱炭素
化)に向け、電気自動車の推進などで
日本一空気のおいしい飯綱町へ。

④ 災害に強い飯綱町を構築します

防災備蓄倉庫やワンタッチ間仕切り
等の拡充を推進します。

⑤ 少子高齢化に対応した医療、福祉の
充実を

農業後継者への助成の拡充を推進し
ます。

⑥ 新型コロナウイルス対策を支援しま
す



伊藤 まゆみ
(議席番号13)

私の信条は、「平和を守り女性が輝
き町民が主人公の飯綱町」です。そ
の実現のために皆さんの声を町政に
届け、誰もが住んで良かったと思え
る町づくりのために取り組んでいま
した。経験を糧に一層努力する決意
です。

子育て支援、教育環境のさらなる
充実をめざし、小中学校の給食費の
無償化、町独自の奨学金制度の拡充
など、子ども達の元気な声が響く飯

綱町へ引き続き取り組みます。

医療、介護、福祉の拠点としての
飯綱病院を国の進める公的病院の統
廃合から守り、在宅で介護する方へ
の支援にも一層努めたいと考えてい
ます。

弱い立場の方々に寄り添い支える
ことを第一に、基幹産業である農業
の振興・若者が就業できる環境づく
りにも頑張りたいと思います。

心豊か日々を過ごせるよう、文化・
芸術を育む町をめざします。

これからもしっかりと学びながら良
い町への取組を強めたいと考えてい
ます。



渡邊 千賀雄
(議席番号15)
議長

議員の役割を果たす

今回の町議選が無投票という結果で
した。しかし改選後の議会に対しては、
関心が高く、注目されています。町民
の声や願いを議会や町政に届け、町政
の発展と福祉の増進に取り組んでいき
たいと思います。

国は、公立・公的病院の削減方針を
進めています。主要農産物の価格暴落
も続発しています。私たちの取り組ん

だ「町民アンケート」に「コロナへの
心配」「暮らしが苦しくなった」「税金
の無駄遣いはやめて」などの声が寄せ
られています。三水地域が、過疎法の
対象地域に指定されるなど、課題も多
いと思います。弱肉強食、なんでも効
率優先の政治でなく、支えあう社会が
求められています。家族農業を大事に、
職場に通いやすく、住んでいてよかつ
たと実感のできる町を。

町民の生活・町民第一の立場で活
動し、「議会報告」を配布、地域とくら
し応援の町づくりを進めていく決意で
ます。

第2次飯綱町総合計画 (後期基本計画)策定

●12月定例会は、11月29日から12月15日までの17日間の日程で開催された。
●提出された議案は、報告1件、条例4件、補正予算4件、その他4件で審議の結果、すべて原案とおり可決した。
●一般質問には、4人が立ち、町の行政執行を質すとともに、施策の提案を行った。

第2次飯綱町総合計画後期基本計画の確定について
—可決—

前期基本計画の期間が令和3年度で終了することから、令和4年度から令和8年度までの5か年の後期基本計画を策定するもの。

総合計画審査特別委員会

質問 住民満足度が30%を割るものがある。事業内容を住民にアピールし、理解を得ることが満足度向上につながるのでは。

回答 「わからない」の回答が多く、満足度が低く抑えられている。選択肢を今後検討していく。内容の周知は、広報誌への掲載と地域に向いての説明会を設けたい。

質問 水道を主とするインフラ事業に膨大な費用がかかると予想されるが、今後の財政状況の中で事業が完結できるのか。

回答 一般会計の歳入歳出は70億円程度に留めたい。歳入は寄付金のおよぼがふるさと納税。今後も増額を期待。地方交付税は、普通交付税30億円前後、特別交付税3億円前後、合わせて32〜33億円相当の見込み。町税は10億円前後を積み算している。水道事業は50〜60億円かければ町内に十分給水ができる想定だが、任期中に用途を立てたい。基金残高は全体で30億円程度の見込み。今後、減債基金から公債費への補填はあるものの、財政調整基金は20億円を目指し、全体でも40億円程度になるよう努力したい。

補正予算

令和3年度一般会計補正予算(第6号) —可決—

既定の予算から2988万円を減額し、総額89億7312万円とするもの。

主な補正内容

米農家への支援

1660万円

し尿処理調査委託を次年度以降へ繰越

△1398万円

地方道改修工事を次年度以降に繰越

△4750万円

農地災害復旧事業

2460万円

令和3年度一般会計補正予算(第7号) —可決—

既定の予算に6694万円増額し、総額90億4006万円とするもの。

主な補正内容

子育て世帯臨時特別給付金事業 6694万円

地区公会堂へのアクリル板設置費用 297万円

令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) —可決—

規定の予算に306万円を増額し、総額13億5322万円とするもの。

令和3年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号) —可決—

規定の予算に1億74万円を増額し、13億6643万円とするもの。

工事変更請負契約の締結について —可決—

第2庁舎風除室追加、職員通用口の建具変更、2階会議室のサッシ新設等拡張による増工。
福祉センターのアスベスト除去による増工、土間基礎コンクリートの解体取り止めによる減工。

北部衛生施設組合規約の変更について —可決—

北部衛生施設組合規約第10条の規定により経費の不足額の20%を人口割で按分、80%を処分実績割(ごみ処理・し尿処理)で按分して

算出し、概ね両町の負担額は均衡が取れていたが、平成31年4月1日よりごみ処理業務が終了し、処分実績割部分において両町負担額にかい離が生じているため算定基準を変更するもの。

	飯綱町	信濃町
令和元年度	32.12%	67.88%
令和2年度	32.95%	67.05%
令和3年度	33.80%	66.20%

▲不足額に対する負担率の経過

	飯綱町	信濃町
令和4年度	47.25%	52.75%
令和5年度	46.44%	53.56%
令和6年度	52.03%	47.97%
令和7年度	49.83%	50.17%
令和8年度	57.92%	42.08%

▲基準変更後の予定負担率

反対討論

青山弘
算定基準を変更すると飯綱町の負担金は現在より約670万円多く負担することになります。これは飯綱町が負担しなくして良い費用です。

清水満
し尿処理施設解体基金は新たに適正な負担基準に基づき基金積立をするべきと考えるのでこの議案について反対します。

賛成討論

石川信雄
組合は共同事業として営んできた。両町が協力して事業遂行していくところ、町の利益につながるものと思う。よって賛成とする。

和解及び損害賠償の額の決定について —可決

飯綱病院における損害賠償請求事件について、和解案に対し損害の解決金の支払義務を認め、和解及び損害賠償額の決定をするもの。

飯綱町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例 —可決

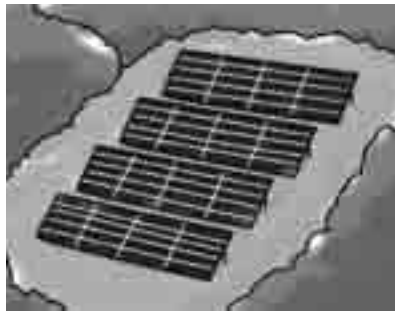
三水地域での製造業、情報サービス業、農林水産物等販売業、旅館業の事業者の新規取得の事業用資産（500万円以上）の固定資産税の課税を3年間免除するもの。

常任委員会

飯綱町景観条例 —可決

主な制定内容

- (1) 景観づくりに関する行政・住民・事業者の責務に関すること
- (2) 景観計画の策定
- (3) 事業行為の届出義務に関すること
- (4) 景観重要建造物・重要樹木・重要眺望点の指定に関すること



▲どうなる太陽光発電事業

質問 太陽光発電設備の設置抑制には、内容が不十分では。

回答 景観条例で規制をかけることはできない。設置の規制をするには太陽光発電に関するガイドラインや条例を別に制定するか、設置に関する内容を既存の開発行為に関する条例に盛り込む必要がある。

り込む必要がある。

質問 抑制に関する条例が必要と思うが、制定は考えているか。

回答 今後、研究・検討していきたい。

意見 町内で問題となっている箇所があり、新たな条例を早く制定してほしい。

賛成討論

石川信雄
長年にわたって熱望した条例であり、やっと景観づくりのスタート地点に立てた。大いに賛成。

飯綱町文化財保護条例の一部を改正する条例 —可決

文化財保護法の一部改正により、文化財調査委員を文化財保護審議会へ組織替えなどするもの。

質問 文化財保護審議会の職務は。

回答 町の文化財に関する事項について、教育委員

会の諮問にに応じて、答申や建議すること。

質問 文化財の目録一覧の現状は。

回答 歴史ふれあい館の特別展に併せて「飯綱町の文化財」という図録を発行した。33件の目録と写真、所有者情報を収録。事務的には文化財指定書原簿を教育委員会事務局で保管している。

飯綱病院条例の一部を改正する条例 —可決

国民健康保険診療施設として、条例上必要事項の記載がないため。

第2回臨時会

11月5日開催

人事案件2件 —同意

監査委員の選任

大川憲明氏

教育委員会委員の任命

村松勝視氏

第3回臨時会

11月22日開催

監査委員選任 —同意

山浦 修氏

臨時会

令和4年第1回臨時会
1月14日開催

令和3年度一般会計補正
予算(第8号) —可決

既定の予算に3億401
万円を増額し、93億440
7万円とするもの。

主な補正内容

歳入

・住民税非課税世帯等臨時
特別給付金
1億600万円

・子育て世帯臨時特別給付
金給付事業費
6583万円

歳出

・地域福祉推進事業
412万円

・住民税非課税世帯等臨時
特別給付事業
1億600万円

・子育て世帯臨時特別給付
金給付事業
6583万円

財産の取得について

—可決

家屋2棟 9057万円
契約の相手方
長野県住宅供給公社

令和3年度 12月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	三ツ井忠義	中井寿一	小林文廣	瀧野良枝	青山弘	中島和子	樋口功	風間行男	目須田修	石川信雄	清水満	大川憲明	伊藤まゆみ	原田幸長	渡邊千賀雄	
北部衛生施設組合規約の変更について	可決	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町景観条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町文化財保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱病院条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯綱町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2次飯綱町総合計画後期基本計画の策定について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和解及び損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事変更請負契約の締結について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯綱町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否結果

福祉文教常任委員会

12月2日

町立飯綱病院を視察・勉強会を行う



学ぶ議会



勉強会内容

- 施設基準及び検査機能
- 就学資金貸与制度
- 具体的な取り組み内容に係る点検・評価
- 事業計画・実績及び病院事業会計
- 当院の地域医療機関としての役割について
- 経営内容について
- 医師不足について

▲活発に行われた意見交換(飯綱病院の説明会と質疑応答)

産業・教育・福祉を質す

中島 和子議員

- 1 経営統合された農産物直売施設、加工施設の活性化を
- 2 選挙期日は

中井 寿一議員

- 1 小学校の教育環境維持向上を
- 2 小学校の防犯体制等は

樋口 功議員

第2次総合計画(後期基本計画)は

伊藤 まゆみ議員

- 1 3期目のスタートにあたっての公約、施政方針は
- 2 介護者慰労金支給制度の対象者の拡大を
- 3 共済掛金の助成の拡大を

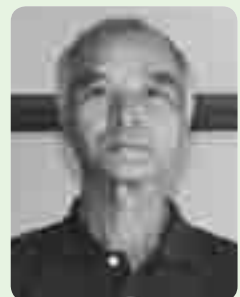
一般質問

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



町議選後の初議会の一般質問を傍聴した。4人と少ないのはモチベーションが低いのでは。議員職を「生業」と錯覚して日々を過ごしている者はいないか。最近、議員に対する町民のきびしい批判の声をよく聞くようになった。

傍聴席



寺島 渉さん
(古町)

議員職を「生業」にしているか

4人の一般質問の内容は、住民要求を取り上げてはいるが、総じて浅く軽く質の高い「議論」にはなっていない。これは答弁者の町長も課長たちも緊張を欠いてしまうのでは…。

それでは質の高い議論にレベルアップするために議員はいかなる努力をすべきか。私論だが、①地域・住民の中に深く分け入り住民と地域の実態及び行政施策を正確に把握する。②それらを深く分析し問題点を解明する。③打開し改善のための政策提案と実行方法を明らかにする。そのためには議員の日常的学習と行政に関する豊かな問題意識をもつことだ。

議員の責務は、地方自治法が示す住民福祉(幸福)の向上である。住民代表としての自覚を高めることを求めたい。個々議員活動の量と質の向上とともにチーム議会としての最大限の成果を町民に具体的に示してほしい。

くり返すが、議員の立場を「生業」にするようなことを住民はのぞまない。

直売、加工施設経営統合で 活性化を



中島 和子議員

町長 町として最大の検討と努力をする

経営統合後の直売所は
中島 3直売所の販売実績と集客状況は。
町長 経営統合した令和2年度は、前年度に対し6千2百万円の伸びがあり2億6千万円の売上。20万人以上の集客があり、経営統合による一定の効果があった。取組次第では今後も伸びていく。
中島 生産者と運営側が連携し、共同責任で運営するのが直売所のあり方と考える。協議は充分されているか。
産業観光課長 極めて大切な要素であり、経営統合後の1つの課題である。生産者との交流機会を創っていく。生産現場や農家紹介などの「直売所だより」や電子媒体で出荷者や顧客に情報発信し共有をする。
中島 直売所で販売する加工品は、飯網特産であるとしたオリジナル性やインパクトのある商品開発が必要と思うが。
町長 特産品開発補助制度があるが周知がされていない。信大との提携でりんご



▲20年程、加工品製造を続ける、さみず農産物加工組合「チアさみず」

合には加わらず独自の運営を行っている。技術の伝承とフルタイムで働ける雇用体制等の整備が課題。スムーズに運営できるように経営統合が必要と思うが。
町長 現状の雇用体制を正規雇用で定める時の運営は難しいものが

の果皮蜜を使った加工品の取組もされているが、地道な努力によって育て上げていくものと考ええる。
直売施設、加工施設の経営の一本化を
中島 加工施設の課題として、施設の老朽化と運営団体の高齢化がある。喫緊の対策が必要だが。
産業観光課長 食品衛生法

の営業許可に基づく施設、設備は早急に対応。高齢化による後継者不足は加工事業の停滞や施設の維持管理の困難に繋がる。既存の管理団体と連携し、郷土食の体験会や勉強会を開催しながら、若い世代の発掘と育成をしていくためのコーディネート体制を強化していく。
中島 「さみず農産物加工組合」は直売施設の経営統

一般質問

ある。振興公社に充分応えられる資金力と技術力とスタッフ力が求められるが、町としては何とか工夫する中で最大の検討と努力をしていく。

議会議員選挙の期日は

中島 町合併に合わせた選挙期日で施行されているが、繁忙期の選挙期日の変更は可能か。
総務課長 公職選挙法では任期満了日前30日以内と定められている。これ以外に選挙を行う場合は任期が変わる必要があるが、単なる任期の変更はできない。長の辞職、議会の解散等があるが有権者への説明責任を果たし、理解を得ることが大切。選挙管理委員会では立候補者と投票者それぞれの立場で話してみたい。



第2次総合計画後期基本計画

集落創生事業が未実施の 集落へ支援を

町長 地域おこし協力隊の活用を検討する



樋口 功議員

飯綱町の住み良さに対する町民の評価

	第1次飯綱町 総合計画 後期基本計画 策定時	第2次飯綱町 総合計画 前期基本計画 策定時	第2次飯綱町 総合計画 後期基本計画 策定時
住み良い	23.7	18.3	26.9
どちらかといえば住み良い	46.2	46.8	39.0
どちらとも言えない	20.6	21.1	22.6
どちらかといえば住みにくい	6.7	10.1	7.7
住みにくい	2.2	3.2	2.6
無回答	0.6	0.5	0.0
回答者数(人)	816	944	531

樋口 令和4年度からの町総合計画後期基本計画について質問する。集落創生事業の現状と未実施集落への支援策は。

企画課長 50集落中、計画策定済は16地区で全体の約3割。事業実施は14地区。

町長 未実施集落に対して、隣接集落が連携しての事業実施を呼びかけたい。さらに、地域おこし協力隊の活用(旧村で1人ずつ)を検討する。

人口増対策の成果と 今後の重点策は

樋口 人口増推進室を中心とした取組の成果は。

企画課長 移住者の取込を図るため、空き家・空き地バンクの新スキームを構築し、昨年6月から156件の空き家情報があり、15件の売買・賃貸が成約。人口移動速報値では10月末で転入者が146人、転出者が138人で8人の転入超過。昨年度(41人転出超過)比で50人ほど改善。過去3年間の人口移動で特徴的なのは、子育て世代の転入超過で、9歳以下世代が71人の転入超過、30歳代世代が49人の転入超過。

空き家・空き地バンク物件の充実と計画的な町営住宅の建設を推進。

安心して子育てできる 町づくりは

樋口 子育て世代支援施設の現状と利用者の満足度は。教育次長 10月末現在で、子育て支援センターが累計2203人、1日当たり平均

19人の利用。ワークセンターは登録者数99人で、延べ利用者が520人、託児を利用した子どもが延べ495人であった。

利用者の声は、子育て支援センターでは、「施設は木材をふんだんに使っており、きれいで気持ちよく、リラククスできて良い」。ワークセンターでは、「キャリアアカウンセリングの丁寧な相談が受けられた」。

公共交通の今後は

樋口 路線バス等及びしなの鉄道の今後は。

企画課長 デマンドワゴンの運行は、iバスヘルパーなど満足度の観点で検討していく。長電牟礼線は、いづな出歩きバスカードの有利性や便利な使い方をPRし、利用者の増を図る。

町長 しなの鉄道牟礼駅が22年4月から土・日は駅員無人化と報道されたが、観

新規就農者を増加 させる方策は

樋口 就農相談等では具体的な経営指標を示し、新規就農者の確保を進めてほしい。充実した農業振興計画を作成する考えは。

町長 JAと踏み込んだ営農計画を立てたい。町の農業振興計画を練り直し、その中に新規就農者の話も入れるなど、基本方針となるべき計画に基づいて着々と進めていくようにしたい。

光客が多く、町の予算で無人化を避けたい。



▲後期基本計画の分野ごとの行動目標図



中井 寿一議員

小学校の教育環境維持向上を

町長 教育環境は維持、住宅問題を課題

小学校の加配について

中井 飯綱町の小学校は、1クラスが概ね20人前後で、先生・子供双方にとって良い環境である。今回、牟礼小学校の1学年が35名になるそうで、県の基準に従えば1クラスになってしまう。これについて町はどう考えるか。

教育長 飯綱町独自の支援とし1、2年生については



▲楽しい授業風景

加配をしてきている。3年生以上では、大勢の中で切磋琢磨することを重要視している。但し、三水小学校については激変緩和ということ、例外的に今の4年生以上も町費をつけて2学級にしている。

移住用住宅の不足

中井 飯綱町の教育環境を求めて移住する方がいる。残念なことに適当な住居が見つからずに断念したという話も聞く。これは大変な機会損失である。子育て世帯は、町の活性化、税収増加にも繋がる。これについてどう思うか。

町長 移住者に対する住宅の供給は町の課題である。保育園の大地や小中の義務教育、高校へのバックアップ体制も飯綱町の売りであり、住宅環境を整えていきたい。

牟礼小学校の防犯体制は

中井 先日牟礼小学校を訪れたが、受付が無かった。

一般質問



▲正面昇降口の様子

不審者の侵入についてどう考えているか。

教育次長 受付のある三水小学校や飯綱中学校に比べ、リスクが大きいことは認識している。危機管理マニュアルを整備し、毎年児童も含めて訓練を行っているが、未然防止が最も重要と認識している。学校を壁で囲ったり、防犯カメラで監視したりすることより、地域との連携の中で安全を確保す

ることに力を入れている。**中井** マニュアルや地域の連携で、事件を防げるとは思えない。しかし、学校には受付を配置するスペースが無く、警備員等の人的費用が掛かる。早期発見の手段として防犯カメラを設置し、常時誰かが複数の場所で監視できる体制を作るのはどうか。

教育長 町内には必要に応じて防犯カメラが設置されている。しかし、小学校に防犯カメラを設置するのは、プライバシーや人権の問題があり、検討の余地がある。町としては地域全体で学校を見守ることを重視している。

中井 いくら訓練しても、地域全体で見守ると言っても、不審者の侵入を発見できないという意味がない。例えば、1階の1年生の教室で悲鳴が上がって初めて学校側が侵入者に気づくことになる。早期発見についてどう考えるか。

教育長 学校運営協議会、学校、町、教育委員会で検討する。

町政3期目の公約と 施策の方針は

町長 多くの方の声を聴き、 新しい人を育てる4年に



伊藤 まゆみ議員



▲安心して子育てのできる町へ…

- ① 国保税も介護保険料も引下げの方策を持つていない。
- ② 税金の無駄遣いは慎みたい。
- ③ 飯綱病院を維持・充実させ、個人病院と連携していく。
- ④ 介護施設を含め、この地で誇りある生活ができるよう取り組む。
- ⑤ 子育て世代の声を聴き、充実したい。

伊藤 前回に続き無投票で、町の将来が議論されずにスタートとなった。3期目の公約と施策の方針は。

町長 多くの方の声を聴く機会を作り、説明して町政を進める。町政に関心を持ってもらい、新しい人を育てる4年間としたい。水道、人口増、福祉、飯綱病院の維持等に力を入れたい。誰にも平等の町政に努めるが、弱い立場の人に視点を置いた施策を行い、やさしい政治をめざす。

伊藤 議員選挙にあたり日本共産党町委員会でも町民アンケートを行った結果、「暮らし向きが苦しい」が79.6%、「町政に望むこと」①国保税、介護保険料の引下げ ②税金の無駄使いをなくす ③医療・保険体制の充実 ④高齢者福祉の充実 ⑤子育て支援の充実等。願いに応える見解は。

町長 まあまあ良い生活ができていくが7割を超えるような町政にしたい。

一般質問

介護者慰労金支給対象者の拡大を

伊藤 介護度3以上の方を在宅で6カ月以上介護している方に支給している。3月の質問に、保健福祉課長は、「要介護者認定に関わる税制上の障がい者控除対象者認定の事務処理規定と合わせて調整するよう、研究している。来年度から実施の考えは。」

町長 現在60人程に支給している。議員指摘のように対象者を拡大したい。20人前後該当となる。

共済掛金助成の拡大を

伊藤 気候変動で農作物への被害が多発している。町長は、農業共済の加入率向上のため、町の助成を増やすことを考えたいと述べている。ぜひ取組を強めるべきと考えるが、見解は。

町長 町に助けてもらったと言ってもらえるように取り組んでいきたい。新規に、収入保険の保険料(掛捨て)の50%補助を行いたい。

産業観光課長 条件として青色申告者で、販売収入金全てを申告している者。

伊藤 白色申告者もいるが、町長 果樹共済も50%補助していく。農業を支える基本となる施策としたい。

収入保険は、自然災害や価格低下だけでなく、農業者の経営努力では避けられない収入減少が基礎の対象です！

自然災害で被害	市場価格が下落	災害で作物不能	労務不足で収穫不能
農産物の洪水被害	取引先の倒産	盗難や盗割りの被害	高齢定年して人員不足

加入できる方
青色申告を行っている農業者(個人・法人)です。

- 保険期間開始時に加入申請を行います。
- 加入申請時に、青色申告承認(期間外方式含む)が1年以上あり加入できます。
- 収入保険に、農業共済、50%助成、野菜価格安定制度などの併用は可能ですが、50%助成は適用して加入します。
- 現在、自分の関心の特例として、野菜価格安定制度の利用者が初めて収入保険に加入する場合、収入保険と野菜価格安定制度を同時利用(2年間)することができるようになっています。
- 同時利用が行われるは、収入保険の保険料は野菜価格安定制度の生産者負担金の2割を充当します。
- 注、収入保険の保険料のうち、野菜価格安定制度の補給金を受け取った場合、収入保険の補給金に上乗せ、その金額が削減されます。

保険期間
個人：1月～12月 法人：事業年度の1年間

補償内容
保険期間中の収入(農産物の販売収入)が、基準収入の9割を下回ったとき、下回った額の9割を上乗せに補てんします。

- 基準収入は、過去5年間の平均収入(5年分)を基本に、保険期間中の収入計算の基礎として算定(前期収入内定方式補正)
- 毎年の標準額(前年度収入の60%)の超過収入は、青色申告決算書等を用いて算定します。
- 農産物の販売収入には、経年、売上高などの変動を加えた平均収入も考慮されます。
- 肉用牛、肉用羊、肉用鶏は対象外です。

▲農水省ホームページより

議会だより第64号(9月定例会)

モニターアンケートにお答えします

選挙公報の取り扱いについて

- Q**
- ・町長、町議会議員選挙は「残念ながら」無投票となりました。選挙公報の原稿の準備をされていたと思われます。次回の議会だよりに掲載して欲しいのですが。
 - ・無投票のため所信が全住民に伝わっていない。何を考え、飯綱町の為に何をするつもりなのか、次号、あるいはHP「議員紹介」欄等で、15名の方々の所信を是非お聞かせいただきたい。
 - ・それぞれの方の考えが伝わってこない。どんな姿勢で取り組まれるのか不明。公約を知りたい。
 - ・議会も新しくなりメンバーも変わられたので、議員さんの紹介をお願いします。どんなご意見をお持ちで議会へ臨まれるかお聞きしたい。
 - ・今回の選挙で感じたのですが、それぞれの立候補者の公約がみられる場所はないのでしょうか。一覧で見られたなら、尚いいのですが。

A 無投票当選における選挙公報の取扱いは、公職選挙法第一百七十一条により、投票を行うことを必要としなくなったときは、選挙公報発行の手続きは中止とすると定められています。アンケートにお答えするために、今回65号で、15名の議員の今後4年間の議会活動に対する抱負を掲載いたしました。(P4～P7まで)

政策サポーターの拡大を

Q 政策サポーター会議の記録が掲載されたが、6名の住民に依頼されているようだが、更に多くの人を対象として拡大してはどうか。

A ありがとうございます。これまで2つの委員会において、第1次サポーター会議には12名、第2次には15名、第3次には16名、第4次には15名、第5次には12名の皆さんからサポーターとして貴重なご意見を頂戴し、政策に結び付けることもできました。今後もより多くの皆様に参加をお願いします。



▲新しい議場で開催された第5次サポーター会議

議員定数・報酬改正すべきでは

- Q**
- ・立候補が少ない原因を追究する中で、議員削減も検討する必要があるのではないのでしょうか。
 - ・現在の議員定数が多すぎるとの各町の人たちから意見や要望があり、定員数15人は12人が妥当との意見です。
 - ・定員の削減や報酬の引き上げ等、若い方が立候補しやすい環境の検討をお願いします。
 - ・定数を下げ、議員報酬を上げ次回選挙が無投票でない選挙を望みます。
 - ・今回の選挙は無投票となり、町民全員が心配しています。議員定数を減らして、10人もいればいいのでは。過去に減らす話があったが、どうなったのか知りたい。
 - ・議員の人数について、議会提案で改正すべき時期に来ていると思います。人員減の実現に向け検討願いたい。

A 議員定数、議員報酬について多くの皆様からご意見を頂戴しました。現在の体制は平成28年、住民との意見交換会等を参考に、飯綱町特別職報酬等審議会の答申を経て決定されたものです。今後、議員懇談会など地域の皆様との意見交換をしながら慎重に検討を重ねていきたいと考えています。

空き家物件の流通を


Q 空き家問題ではなく「空き家が出てこない問題」があります。空いているのに、なかなか、貸し出したり売却されず荒れていく家を見かけますので、対策をお願いしたい。移住希望者はいるので物件がもっと流通すると良いが。

A 企画課人口増推進室では、空き家の流通を加速させるため、所有者に対して今後の利活用についての意向を確認するとともに、残置物の処分方法などの相談を受けています。町が行う空き家バンク事業では、1年半で22件の空き家が成約となりましたが、移住希望者の多様なニーズに対応するため、今後も多くの空き家情報が必要です。是非、お心当たりの空き家がありましたら情報をお寄せください。
(問い合わせ 企画課人口増推進室 Tel.026-253-2512 メール jinko@town.iizuna.nagano.jp)

「空き家」情報をお寄せください!

現在までの空き家バンクの実績(令和2年6月～令和3年12月)

寄せられた 空き家情報	空き家バンク 登録申請	空き家バンク 登録完了	成約
160件	58件	36件	22件



※「空き家」とは、居住を目的に建築され、現に居住していない(近く居住しなくなる予定のものも含む)。飯綱町内に存在する建物等をいいます。

あの時の あの質問 どうなった??



▲旧赤塩保育園 現在の様子

【令和3年3月 一般質問】

Q 旧赤塩保育園の活用は。

A 人口増を図るために保育園跡地に町営住宅を建設したい。



対応 令和4年度以降、三水地区において、町営住宅を計画的に整備する意向。

【令和3年6月 一般質問】

Q 特定検診は、飯綱病院で行う予定ができなくなった。来年度はどうするか。

A 飯綱病院と協議する。



対応 令和4年度は、飯綱病院で実施



▲コロナ特定検診

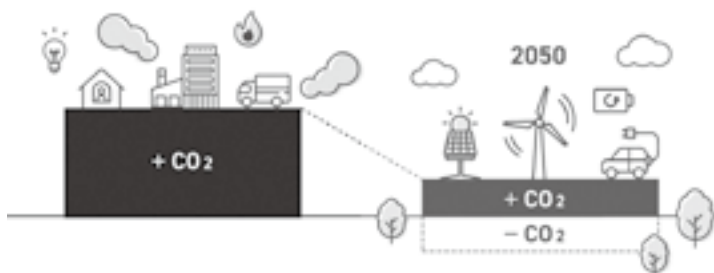
【令和3年3月 一般質問】

Q 脱酸素社会の実現に向けて自治体や個人で取り組めることはないか。

A 住宅用太陽光発電の補助支援を実施



対応 補助要綱により補助を継続していく
 ・令和3年9月までの補助件数101件
 ・年間15件程度の予算範囲で補助



▲「環境省のカーボンニュートラルとは」から

あの質問どうなった

新しい町づくりへ 私の提案

第25回

合理化と人材で楽しい町へ(ず~っといたくなる町)



原田 英世さん
(平出)

私は会社を経営し被災地支援や地方創生に関わっています。被災地や田舎では弱者救済の政策が優遇され「働き盛りの人への支援が少ない」。そこで合理化による暮ししやすい町への提案を行います。

例えば夜間勤務や早朝勤務の方がいる中、早朝のごみの立会等は廃止し24時間いつでも出せるようにする事で住民の負担が軽減できます。解決策は集積所を増やし、分別システムを構築すれば可能です。

最近ピザ店を開業しました。飲食事業不況の中「宅配が来ない」等の声から一流の人材が関っても成り立つ事業(大手リゾート経験者やピザ職人大会出場者)等の人材がピザを販売しながら楽しい町への提案を行えればと考えております。

実体験から ~みつどんの活用~



近藤 理香さん
(芋川)

栄町区、丸為旅館さんの1階食堂スペースをお借りして、喫茶店を始めて半年が経ちました。

長く暮らした木曾町から、5年前に飯綱町に戻り、少しずつ繋がったご縁から「飯綱町空き店舗等活用事業補助金制度」について教えていただいたのがきっかけで、開業に至りました。

補助金制度の条件を満たすために、窓口の方に指導をいただく中で、自分の無知さを思い知らされ、大変情けない気持ちになりましたが、飯綱町に、こんな場所があったらいいな!!という妄想を実現したい一心で乗り切ることができました。資料は難解な文面...という印象でしたので、みつどんが漫画で楽しく解説するページ等もあれば一歩踏み出しやすいのでは?と感じました。

リンゴ御殿を 建てる夢の実現へ



清水 憲和さん
(栄町)

少子高齢化の流れは飯綱町も例外ではなく、先の国勢調査の結果を見ても歯止めがかからない状況です。

町では「日本一のりんごの町へ」、「日本一女性が住みたくなる町へ」を目指して様々な施策をとっていることは承知しています。期待大は、「リンゴ農家を目指し移住する」人を増やすことではないか。来年度の農水省事業計画では「農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)」が拡充されるとの報道もあり、これらを利活用すること。とりわけ「地域おこし協力隊」の募集にあたり「リンゴ生産」をミッションとし同時に2名以上の採用により、「同期の絆」を深めながら町に定着し、先々「リンゴ御殿」を建てるまでの支援計画を立ててみたら如何か?

